

# 日本ホワイトヘッド・プロセス学会

## 会報 No.41 (2005-8-19)

事務局: 〒573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学 2429 研究室内  
tel.072-805-2801, FAX 072-805-2890,  
email: i-hirata@kansai.ac.jp

暑さの続く今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。いよいよ来る9月24日(土)と25日(日)の二日にかけて本年度の第27回全国大会が千葉の千葉商科大学で開かれます。

先の会報では開催日時についてこちらの不手際で御迷惑をおかけしました。

ところがさらにシンポジウムの副題についても、誤りがあることが判明しました。「一西田哲学とプロセス哲学との対話」という副題をつけましたが、今年度のシンポジウムのテーマは、別封のプログラムにもある通り、「Sustainabilityの現状と問題ー地球文明の有機的統合に向けてー」というものです。シンポジウムの担当の方々、及び会員の皆さんにおわびいたします。

さて今年度はこのシンポジウムだけでなく、個人研究発表もまた例年に無く充実しており、シンポジウムの翌日、12人の方が発表されることとなります。

既に大会や懇親会の出席等については、葉書でお返事を頂きましたが、未だお返事されていない方、あるいはまた欠席とお返事された方でも、今回は千葉、と言っても東京の極近くという便利なところで開催されますから、当日急にでもいらしていただければ、ありがたく存じます。

それでは今回の会報は先に投票をお願いしていた理事の選挙結果等についてお報せいたします。

ー日本ホワイトヘッド・プロセス学会事務局

### 【2005年度理事選挙開票結果】

開票日時: 2005年8月12日 午後一時より

開票場所: 学会事務局 (関西外国語大学 本館講師控え室)

選挙管理委員: 花岡永子 谷口照三 (事務局: 山本誠作 平田一郎)

投票総数: 22通 282票 有効投票数 282票

その結果以下の方達が新理事に当選されました(アイウエオ順)。

荒川善廣	伊藤重行	遠藤弘	酒井ツギ子	武田龍精
田中裕	谷口照三	永見勇	延原時行	花岡永子
平田一郎	藤川吉美	間瀬啓允	村田晴夫	山本誠作

当選された方は、色々と御面倒をおかけいたしますが、どうかよろしくお願いたします。

なお早速、本大会第一日目の午前中、新理事による第一回の理事会を千葉商科大学、本館3-1会議室で開催して、そこで新役員、及びさらなる理事の補充をする予定となっております。新理事の方よろしくお願いたします。

### 【会員異動】

◎ 退会  
井上義祐

### 【住所不明】

以下の方は住所不明です。御存知の方は事務局までご一報ください

江川晃 川底庸人 小野沢永秀 関正幸 瀬嶋貞徳 高橋直子 佃良介  
庭本佳和 船戸幸喜 S.T.フランクリン 巻島達男 鞠子英雄 三井泉 山元皓二  
湯川博之

### 【雑誌について】

先の会報でもお知らせした通り、本年度は『プロセス思想』第十二号を発行します。この号は例年より早く、来年の国際会議の前、来年5月か6月に発行する予定になっています。国際会議にもっていく関係で英文を歓迎いたします。

新編集委員長は次回の理事会で決まりますが、投稿先については当面現編集委員長の上智大学の田中裕先生の以下の住所、もしくはメールにお送り頂くようお願いいたします。

枚数;原稿用紙400字詰め 30枚まで、英文レジュメを付ける。  
様式;印刷したものとフロッピー(できればMSワード、あるいはテキスト・ファイル)の双方で、フロッピーの代わりにメールの貼付ファイルも可  
期限;2003年12月末日

送付先;〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学文学部哲学科  
田中 裕 研究室

E-mail: [yutaka-t@hoffman.cc.sophia.ac.jp](mailto:yutaka-t@hoffman.cc.sophia.ac.jp)

### 【国際学会のお知らせ】

来年度のオーストリア、ザルツブルグで開催される第六回際ホワイトヘッド学会について、先の会報でお知らせしたことを念のため再び繰り返します。詳しい情報は以下のWebに載っております。

<http://www.uni-salzburg.at/whiteheadconference/1280.htm>

そこに掲載されている主な項目を再びお知らせしますと、

日時 2006年7月3日(月)~6日(木)

Registration 2006年5月15日までに、前記Webから直接申し込む

ただし発表を予定されている方は発表されるセクションを先のWebから選びそこにのっている各セクションの責任者と直接コンタクトを取っておくことが望ましいと思われま。